

京都教区時報

京都教区広報委員会
(編集長 村上透磨)

京都教区本部事務局
京都市中京区
河原町通三条上る

TEL 075-211-3025

FAX 075-211-3041

honbu@kyoto.catholic.jp

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> 4345

2頁～3頁 回勅『ラウダート・シ』の問いかけること (読書会推進企画)

4頁～5頁 2017年 カトリック京都司教区 ミサ時間

6頁 こんにちは神父さん (アントニオ・カマチョ神父/ホン・ユンハク神父)

点訳版「京都教区時報」〈無料〉
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまでお申込みください。

TEL・FAX 079-431-8601

ブロックの枠を越えて

大塚司教より、2016年4月からの地区制とブロックの再編について、次のようなお知らせがありました。

「ブロック」と「地区協議会」について、ブロックの再編によって「京都南部地区」と「三重地区」以外は、「地区」⇨「ブロック」となります。事実上、地区の協議会も解消します。これまでの「地区協議会」としての活動(例、地区の宣教課題、外国籍信徒への対応、青少年司牧、地区企画の研究(聖書講座、典礼研修会)、地区合同堅信式、など)は、「ブロック」としての活動が基本となります。

(例) カトリック〇〇ブロック主催、「京都南部地区」と「三重地区」は、「〇〇地区主催」としてください

(京都教区の地区制と共同宣教司牧ブロックの再編成についてその3より引用)

4月29日、三重ウォーカーソンが、鈴鹿教会担当でおこなわれました。一年に一度だけの三重地区主催の行事です。ブロックの枠を越えての貴重な交流です。このような交流も大切ですね。

瀧野正三郎



7

2017

回勅『ラウダート・シ』

の問いかけること 読書会推進企画



講師 瀬本正之師
(イエズス会)

回勅『ラウダート・シ』は教皇フランシスコから「この星に住むすべての人に向けて」書かれた手紙です。私たちはこの星に「ともに暮らす」者としてこの手紙に誠実に向き合い、分かち合うことが必要であるとの考えから、小教区や小さなグループで『ラウダート・シ』の読書会をしていたり、それを提案するため、読書会推進企画として、講演会とお試し読書会を企画しました。今回は4月25日に行われた、訳者の一人である瀬本正之師の講演会についてお伝えします。

最初の挨拶で大塚司教は『ラウダート・シ』のテーマを単に「環境問題」と矮小化せず、私たちと社会と自然とのかわりの中で読むと、福音宣教や教会での活動などにもいろいろな視点を与えてくれるものであるとし、本講演会を教会で読書会を始めるきっかけにしてほしいとお話しになりました。

瀬本師の講演は、読書会推進企画の基調講話であるため、これから読書会をするということを意識してお話でした。中心的な内容として『ラウダート・シ』の章の構成や各章の内容を、その中に込められた教皇フランシスコの思いも踏まえながら丁寧の説明し、また各章の特徴と読書会で読む際の工夫の可能性も示してくださいました。大塚司教が最初の挨拶で触れられたように、各章で扱われる内容は、もちろん環境に関することから、聖書や霊性まで多岐にわたっています。さらに『ラウダート・シ』を通して繰り返し出てくる10のテーマや、本回勅の前に発表された使徒的勧告『福音の喜び』との関連などについても触れ、テーマを意識して読み通すこともできる、どの章から読み始めることも可能であるな



ど、本回勅には幾通りもの読み方があるということをお話してくださいました。

最後に『ラウダート・シ』というタイトルのついて、古いイタリア語で「たたえられよ、あなたは」という意味であり、アシジの聖フランシスコの「太陽の賛歌」の祈りから取られていることをお話しになりました。太陽や月や星など、あらゆるものの活動の中に神のいっくしみを感じ取り、神を賛美する。つまり私たちが神を賛美するのを被造界が助けてくれる、被造界の働きが私たちに神を賛美させるということですが、そのような世界を私たち人間が損なって良いのか、ということをお話しました。『ラウダート・シ』—「たたえられよ、あなたは」という気持ちになるように本回勅を讀ん

で欲しいと、訳者としての思いを伝えてくださいました。

次号では読書会推進企画「お試し読書会」についてお伝えします。また福音宣教企画室のホームページに、瀬本師の講演を踏まえた、読書会のための参考資料を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



「求道者に同伴する信徒」

養成講座

パートⅡ 終了

2011年から昨年まで「求道者に同伴する信徒」養成講座を実施してきました

だが、第1回からの修了者が合わせて約100名となった第5回を最後に、この講座(パートⅠ)はお休みすることにし、「修了者のための養成プログラム」として新たに「求道者に同伴する信徒」養成講座パートⅡを準備しました。「パートⅡ」はパートⅠの修了者のみを対象としたプログラムで、受講者は39名でした。昨年9月から9回にわたって行われ、3月のまとめと派遣のミサをもって無事に終了しました。

「求道者に同伴する信徒」養成講座パートⅠはマルコ福音書を学びの中心に据え、コレイン師(淳心会)による講話や分かち合い、発表という内容でしたが、パートⅡでは受講者自らが深く聖書と向き合い、それを自分の信仰生活と重ね、自分の言葉で信仰を伝えることができるように、また相手の話をよく聴くことができるように、聖書のグループワークと分かち合いを中心としました。いままでも何度も読んでいた聖書箇所でも、あるテーマ(視点)を意識してじっくり読んでみると、いままでは見えていなかったものが見えてくるようになり、さらに自分の信仰生活での体験と照らすことに

よって、聖書と生活の分かち合いをすることができました。

今年も秋から、昨年の本講座を受講していない方を対象にパートⅡ(パートⅠ修了者のみ受講可能)を実施する予定で準備をしています。また各小教区によって状況や事情は異なるので、各自の小教区に合った形で、修了者のみなさんが活動できるよう、ブロックごとに修了者の集いを開いたりもしています。養成講座とあわせて、引き続きこのような集いやフォローアップなども、行っていきたいと考えています。



福音宣教企画室

カトリック京都司教区 ミサ時間

2017年6月

京都北部ブロック	小教区名	主日のミサ	週日のミサ
	丹 後	9:00(網野) 11:00(宮津：但し、7月～9月は加悦) 第3(英語)15:00(宮津)	10:00ⓧ宮津 ⓧ岩滝/峰山 ⓧ加悦/網野 ⓧ丹後大宮
	福 知 山	9:00/11:00/第4(英語)11:00	ⓧ10:00 ⓧ10:00(第2、4、5) (第1は19:30報恩寺) ⓧ7:00 ⓧ10:00 ⓧ14:00
	西 舞 鶴	第1、3、5、9:00/第2、4、11:00/第1(英語)15:00	ⓧⓧⓧ6:30 (レデンプトール会) ⓧ15:30(真愛の家) ⓧ7:00(聖母訪問会) ⓧ15:30(西舞鶴)
	東 舞 鶴	第1、3、5、11:00/第2、4、9:00	

(京都)洛北ブロック	小 山	9:00	第3 ⓧ11:00
	衣 笠	11:00	ⓧ19:00(但し第2 ⓧ10:00) ⓧ10:00 衣笠カルメル修道会 ⓧⓧⓧ7:30
	宇 津	第2 ⓧ19:30(冬季1月～3月15:00)	
	山 国	第4 ⓧ19:30(冬季1月～3月15:00)	
	西 陣	9:00	第3 ⓧ15:00 望洋庵ⓧⓧ7:30
	高 野	11:00	ⓧⓧ10:00/第2 ⓧ11:00
	北 白 川	9:30	ⓧ～ⓧ7:00(但し休日は9:00)

(京都)洛東ブロック	河 原 町	7:00/10:30/第2、4(英語)12:00/ⓧ18:30	ⓧ～ⓧ6:30/ⓧⓧⓧ18:30
	山 科	9:00	ⓧ7:00 ⓧⓧ9:30
	伏 見	9:00	ⓧ10:00/ⓧ13:30
	桃 山	10:30/第3(スペイン語)14:00	ⓧⓧ7:00

(京都)京丹ブロック	丹 波	亀岡聖堂 第2は前晩19:00/第3、11:00 園部聖堂 第1、4、11:00	第5 10:00 ブロックミサ (要 問合せ)	ⓧ10:30
	桂	9:00(第2は前晩19:00)		第1、3 ⓧ13:30/ⓧ13:30
	九 条	9:00		第1 ⓧ10:00/第3 ⓧ9:00
	長 岡	11:00(第1は前晩19:00)		ⓧ10:30
	西 院	11:00(第4は前晩19:00)		ⓧ19:00/ⓧ11:00
	コリアンセンター	10:00		第3 ⓧ11:20

2017年6月

	小教区名	主日のミサ	週日のミサ
〔京都〕山城ブロック	八幡	第1、14:00 第2、3、4、5、9:00	第2 ㊦10:30
	宇治	第1、9:00 第2は前晩18:30 第3、4、5、11:00	㊦13:30/㊧13:30/㊨7:25 但し、7月20日～8月31 まで㊦㊧13:30が7:25に変更
	青谷	第1、2、11:00 第3は前晩18:30 第4、5、9:00	㊦10:30 但し、8月はミサなし
	田辺	第1、2、9:00 第3、4、11:00 第5(英語)15:00	㊦18:30/㊧10:30
	精華	第1、前㊨ 第4、15:00 第2、11:00 第3、9:00 14:00 第5、11:00	㊦10:00
	宇治カルメル	9:30	㊨～㊨6:30
奈良ブロック	富雄	11:00	㊦㊧10:00(第1㊧なし)
	登美が丘	9:00	㊦9:30/㊦㊧㊨9:00
	奈良	7:00/11:00/最終㊨(英語)15:00/㊨18:30	第1㊧10:00
	大和郡山	9:00	㊦10:30(英語)/㊦9:30 第1㊧10:30
	西大和	10:30	第1㊦10:00/㊧10:00(第1なし)
	大和高田	8:30	㊦㊨10:30
	大和八木	第1、3、4、5、11:00/第2(スペイン語・日本語)11:00/第3(英語)14:00	㊦10:00
御所	9:00	聖ヨゼフホーム ㊦10:00(第1なし)/第1㊧10:00	
滋賀ブロック	安曇川	第2、4、5、14:00	
	唐崎	10:30	㊦10:30
	大津	9:00	㊦17:00/㊧10:00
	草津	8:00/10:00/第2(ポルトガル語)10:00「水口」/第2(スペイン語)14:00 /第3(ポルトガル語)15:00/第4(英語)14:00/㊨19:00	㊦～㊦7:00/㊧11:00
	甲賀	第2、4、㊨16:00	
	彦根	9:00/第1(英語)第3(スペイン語)第4(ポルトガル語)11:00	㊨㊦㊨7:00/㊧9:30
長浜	第2、4、5、14:00/第1(ポルトガル語)11:00(英語)14:00/第3(スペイン語)14:00	㊦19:30/㊦10:30	
三重北部ブロック	桑名	9:30	㊨9:30/㊧19:00
	四日市	7:00/10:00/第1(タガログ語)13:00/第1、2(ポルトガル語)16:00 第3(英語)13:00/第4(スペイン語)12:00/㊨19:00	㊨～㊨7:00
	鈴鹿	10:00/第1(英語)14:00/第1(スペイン語)18:00/第4(ポルトガル語)18:00/㊨19:00	㊨㊦㊦㊨㊨7:00 ㊧10:00
三重南部ブロック	上野	9:00/第3(ポルトガル語)11:30 毎㊨19:30[但し、第1(スペイン語)、第2(ポルトガル語)、第3(子供ミサ)、第4(英語)]	
	名張	11:00	㊨㊦㊦㊧6:30/㊦10:00
	津	9:00/第2(英語)14:00/㊨18:30	㊦㊦㊦7:15/㊧10:00
	久居	10:45/第2(ポルトガル語)15:00	第1㊧19:00
	松阪	11:00/第1、3(英語)14:00	㊨6:30/㊦18:30/㊦10:00
	伊勢	9:00/第1、3は前晩18:30	㊧10:30/第2、4㊨10:30

こんにちは神父さん



アントニオ・カマチョ 神父

所属 グアダルペ宣教会
 生年 1964年
 叙階 1999年

はじめまして、私はグアダルペ宣教会のアントニオ・カマチョと申します。メキシコ人です。1991年に日本に来ました。日本語を2年間勉強した後に東京カトリック神学院で神学を勉強しました。1997年に助祭叙階を受け、メキシコに帰り、1999年にメキシコで司祭叙階を受けてからメキシコでしばらく色々な仕事をしました。グアダルペ宣教会本部で宣教師アニメーションの部長、コミュニケーションとウェブマスターのアシスタント（3年）、宣教師の召命センターの責任者（2年）、宣教師振興局長ソーシャルメディアの部長（6年）。2009年には、日本に派遣される話があったのですが、その後もメキシコ司教団の元でコミュニケーションの事務局長をしました。日本に帰りたいのですが、なかなか叶いませんでした。

7年間、司教団の元で働きました。メキシコは93教区がありますので、各教区のコミュニケーションオフィスを訪ねてまわりました。研修会、勉強会、メディア会議などを行いました。その間に、一番心に残ったのは、教皇ベネディクト十六世によるメキシコ訪問で、メディアコーディネーターをした事でした。

2016年7月にやっと派遣されて日本に帰りました。半年間、日本語学校へ行きました。今年の復活祭後、京都教区の京丹ブロックに大塚司教様から任命されて、とても嬉しかったです。これから信者の皆様と共に歩んで行きたいと思っています。

“皆様の苦しみ、私の苦しみ” “皆様の喜び、私の喜び”。
 明るい宣教師として、皆様のために祈ります。これからも、どうぞ宜しくお願いいたします。



ホン・ユンハク 神父

所属 濟州教区
 生年 1981年
 叙階 2013年

はじめまして。私は今年2月、濟州教区から京都教区に派遣されたホン・ユンハク（洪潤學）ペトロです。京都に派遣されてきたばかりの時は、恐ろしさが一番大きかったです。しかし、京都で先に司牧をしている濟州教区の先輩の神父様たちの姿を見て、その恐ろしさは感謝する気持ちに変わりました。今は司牧ではなく、日本語の勉強に熱心していますが、一日も早く私も先輩の神父様たちのように、日本でイエス様の姿と一緒に見つけ、分かち合いたいと思います。

2013年、司祭叙階を受け、「わたしのうちに留まっていなさい。そうすれば、わたしもあなたがたのうちに留まっている。」(ヨハネ15・4)という、み言葉を自分の聖句として決めました。しかし、私は小さい所、自分が安住できる所だけ、イエス様のうちに留まろうとしました。このような私の弱いところが、今ここ京都での生活を通して一つずつ変わっています。すべての人とともに留まっておられるイエス様の姿のように、ここ京都教区でそれを実現できるように努力します。

皆さん、いつもイエス様のうちに留まる生き方をともに歩んでいきましょう。恵みと平和の源である主イエスキリストが皆さんとともにいてくださることを願いながら、お祈りのうちにいつもともにします。

7月のお知らせ

教 区

聖書委員会 / Tel.075(211)3484 ㊦㊧

聖書講座「聖書で祈る」

日 時：5日㊦ 19:00 6日㊦ 10:30

テーマ：神のみに仕えよ

講 師：柳田 敏洋師(イエズス会)

日 時：19日㊦ 19:00 20日㊦ 10:30

テーマ：祈りと人生

講 師：中川 博道師(カルメル会)

会 場：河原町教会 ヴィリオンホール

よく分かる聖書の学び

日 時：12日㊦ 10:30

講 師：北村 善朗師 / 参加費：300円

会 場：河原町教会 ヴィリオンホール

青少年委員会

京都カトリック青年センター

聖書の集い

日 時：22日㊦ 18:00

(どなたでも参加ください)

ブロック

奈良ブロック

聖書講座－真福八端－

マタイによる福音 5章3節～10節

教皇フランシスコ、福者高山右近、

聖なる人々と共に

日時会場：7日㊦ 19:00 大和郡山教会

8日㊦ 10:00 奈良教会

福 音 書：マタイ 5・9

講 師：奥村 豊師

日時場所：21日㊦ 19:00 大和八木教会

22日㊦ 10:00 奈良教会

福 音 書：マタイ 5・10

講 師：大塚 喜直司教

修 道 会

男子カルメル修道会(宇治修道院)

Tel.0774(32)7016 Fax.(32)7457

聖書深読黙想会(中川 博道師)

日 時：1日㊦ 10:00～16:00

参加費：2,500円

水曜黙想(九里 彰師)

日 時：5日㊦ 10:00～16:00

参加費：3,000円

社会人のための霊的同伴(九里 彰師)

日 時：7日㊦ 20:00～8日㊦ 15:00

参加費：6,500円

一般のための黙想(中川 博道師)

日 時：22日㊦ 17:00～23日㊦ 16:00

テーマ：ロザリオの道・キリスト者の歩み

参加費：7,500円

諸 団 体

京都カトリック混声合唱団

練 習：9日㊦ 14:00 / 22日㊦ 18:00

ミサ奉仕後

30日㊦ 14:00 カトリック会館6階

コーロ・チェルステ(女声コーラス)

練 習：13日㊦ 10:00

カトリック会館6階

27日㊦ 10:00

河原町教会聖堂2階楽廊

聴覚障がい者の会(どなたでも参加可)

手話表現学習会(聖書と典礼)

日 時：13日㊦ 13:00

会 場：カトリック会館6階

心のともしび 番組案内

テレビ(衛星スカパー、ケーブル)スカイ A

毎週土曜日 朝 7:45

シリーズ「私のキリスト道巡礼記」

出演は橋本 勲師(長崎教区)

ラジオ(KBS京都) ㊦～㊦ 朝 5:55

㊦ 朝 5:15

7月のテーマ「子育ての実り」

8月 平和旬間行事

テーマ：マザー・テレサに学ぶ平和

日 時：8月11日㊦ 10:00～12:00

場 所：セントヨゼフ女子学園視聴覚室

講 師：片柳 弘史師(イエズス会)

主 催：カトリック久居教会

共 催：カトリック三重南部ブロック

ペトロ国本 静三師

司祭叙階五十周年 金祝感謝ミサ

2017年7月9日㊦ 午前10時30分

カトリック河原町教会

※ 9月号の原稿締切り日は7月19日㊦です。

大塚司教の

7月のスケジュール

Schedule of Bishop Otsuka



2日⑧ 10:00 奈良ブロック大会
(奈良教会)

5日⑨ 14:00 中央協 長期修繕審議会
15:30 " 人事制度検討会

6日⑩ 10:00 " 常任司教委員会
15:00 " 社会司教委員会

9日⑪ 10:30 ペトロ国本静三神父 司祭叙階50周年
金祝感謝ミサ(河原町)

11日⑫-12日⑬ 大阪教会管区司教会議

14日⑭ 中央協 列聖推進委員会

21日⑮ 19:00 奈良聖書講座

22日⑯ 10:00 奈良聖書講座

23日⑰ 15:00 福知山教会 英語ミサ

24日⑱ 14:00 司教顧問会

26日⑳ 10:30 7月司祭・司牧者集会
(河原町)

31日㉑-1日㉒ 第11回 京都教区カトリック学校
教職員修養会(河原町)

2017年 中学生広島平和巡礼

河原町教会 守口 航平

京都教区では今年も広島平和巡礼に行きます。何十年も続くこの巡礼に関われることを嬉しく思います。今年は去年とは違い、済州教区の中学生も来ます。済州の中学生と京都教区の中学生が一緒になって広島で平和について考えていきたいと思っています。

この広島巡礼は、中学生が平和について考える良い機会になっていると思います。それは、リーダーをしている人にも同じだと思います。リーダーたちは、4月からこの広島平和巡礼の準備をしています。事務的な準備もありますが、自分たちも平和について深く考えながら良い

機会になっていますし、改めて平和の大切さに気付かされています。自分たちが気づいたその平和についての気持ちを、中学生にも伝えていきたいと思っています。

広島平和巡礼が、中学生・リーダー・神父様達すべての巡礼に関わる全ての人達に実りのある有意義なものになるよう皆様お祈りをお願いします。



【青年センター-HP】 携帯からでもご覧いただけます。 <http://www.kyoto.catholic.jp/seinen/>

青年センターあんでな